

# 悩み事気軽にどどどぞ

気仙沼市  
階上地区

## 民間団体が生活支援施設開設

仮設住宅の入居者など被災者の生活再建を応援するため、地元の民間団体によるサポートセンターが先月28日、気仙沼市長磯原ノ沢に開設された。健康や困り事などの各種相談に専門スタッフが応じるほか、地域での孤立を防ぐための交流イベントを展開していく。

「はしかみ交流広場」と名付けた拠点施設は、市内で活動するケアマネジャーや社会福祉士、精神保健福祉



生活相談などに応じるスタッフ

階上公民館向かいの私有地にトレーラーハウスを設置。スタッフ2人が常駐しながら、介護や育児、経済的な問題など生活全般の悩みや法律などに関する相談に応じる。仮設住宅などで生活する一人暮らし高齢者宅なども巡回し、各種支援策の提案や専門機関・団体への仲介を行う。

初日は、開設を記念し、「なんでも相談会」のほか、ポニーやヤギ、犬などと触れ合える「移動どろぶつ園」が開催され、親子連れなどでにぎわった。同団体によると、初日は仮設住宅の入居者や避難所で生活する被災者などから18件の相談があり、「仮設住宅に手すりがなく不便を強いられている」などの声が寄せられた。

相談は無料で、時間は午前9時から午後5時まで（当面毎日）。

今後、お茶会や芋煮会、手芸、伝統料理教室などのイベントも開催していく。小松治副代表は「行政サービスでは補えない隙間を

きるだけ埋め、被災者割を果たしていきたくの心の拠り所として役「と話しこんで